

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	北里大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キタサトダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	医療衛生学部健康科学科
	担当教職員名・役職	太田久吉・教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	12
	受入企業等数	6
	受入企業等名	古川電池株式会社、株式会社神戸製鋼所、株式会社グッドライフデザイン、中央労働災害防止協会、ソニーコーポレートサービス株式会社、一般財団法人北里環境科学センター
	インターンシップの分類	6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	人と環境との関わり合いの中で、人の健康を守るため実社会に於いては実際にどのようなことが、どのような方法で行われているかを実践的に体験し、理解を深める。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1年次
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	シラバスに教育目標、教育内容、授業内容、到達目標等を掲載し、評価基準により単位認定を行っている。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	科目責任者及び担当者と派遣期間の担当者とが連絡を取っていると同時に、学生からも連絡が取れる体制を取っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	健康科学科の3年次までに学修した内容を復習し、大学での勉強内容が実社会でどのように活かされているか、またどのようなことが必要とされているかを考える準備を整えるようにしている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	研修後はレポート作成をして研修体験を纏めている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	シラバスに到達目標及び評価基準を記載し、派遣先からの評価及び研修後のレポートにより総合評価している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)		
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	研修期間は、夏休み期間の正味5～10日を利用することとしており、平成28年度は最長で連続5日間で実施した。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。7.その他
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	本インターンシップに協力して頂ける企業(鉄鋼、自動車、化学工業、環境等)、測定(環境、微生物等)分析、研究機関(環境、衛生研究所等)での現場研修を通して、健康科学に関連する業務内容を研修している。
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本科目の研修目的と内容を研修機関に伝えるとともに、研修学生の評価及び所見をお願いしている。
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://kitasato-ahs.e-campus.gr.jp/public/syllabus/2016/show/1153	
問	大学等名	北里大学

い 合 わ せ 先	担当部署名	医療衛生学部事務室教務課
	担当者役職名	課長補佐
	担当者氏名	小針 英明
	電話番号	042-778-9605
	メールアドレス	a-kyoumu@kitasato-u.ac.jp